

ボッチャ

Boccia

ヨーロッパで生まれたボッチャは、1992年のバルセロナパラリンピックから正式競技になりました。また、障がいの有無を問わず、レクリエーションとして誰でも簡単に楽しむことができるスポーツです。

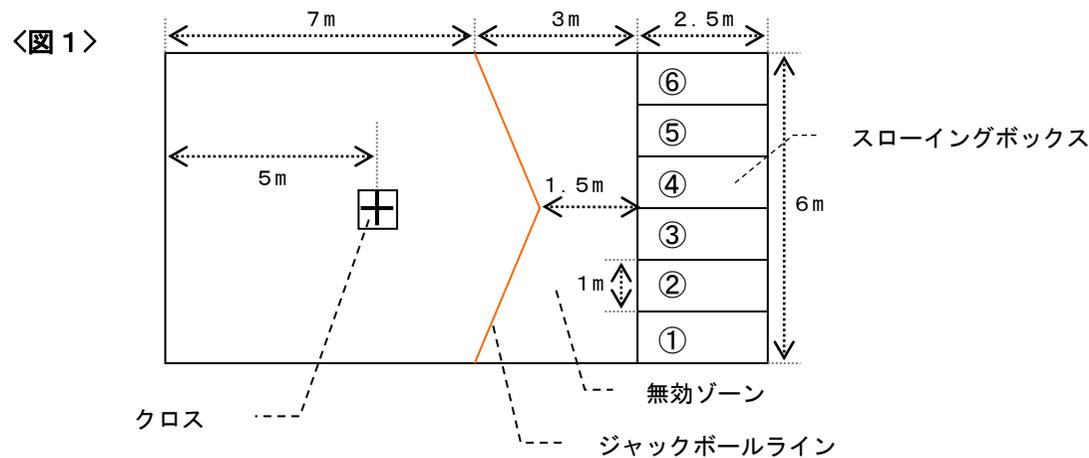
I. 用具及びコート

(1) 用具

- ① ボール : 直径 82±2mm
重量 285±15g
色 赤6個・青6個・白(ジャックボール)1個
表皮は手縫いの皮製で内部には合成樹脂のチップが入っています。
- ② メジャー: ボールとジャックボールの距離を測るのに使用しますが、一般に市販されているメジャーをご使用ください。

(2) コート

コートの大きさは特に限定しないが(タイルや木張りの体育館のような平で滑らかな床面)、コート(エリア)を決めた場所の例。



II. 人数と持ちボールの数

〈表1〉

通常は3対3(トリプル)で行います。

対戦方法	1人の持ちボール	チームの持ちボール	ゲームで使うボール
3対3	2個	6個	12個
2対2	3個	6個	12個
1対1	6個	—	12個

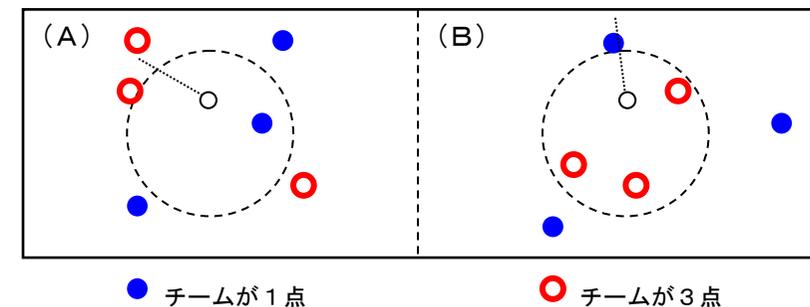
III. ゲームの進め方

- (1) 先攻・後攻
先攻・後攻をコイントス等で決め、先攻チームは赤ボール、後攻は青ボールを使用します。
また、スローイングボックスのホームボックス(奇数番号)かアウェーボックス(偶数番号)を選択します。
- (2) 試合開始
 - ① 初めに白のジャックボールを先攻チームで1番のスローイングボックスの人が投げ入れます。続けて同じ1番の人が自分のボールをジャックボールにより近く止まるように投げます。
 - ② ジャックボールが無効ゾーンまたはコート外に出たときは、相手チームへ投球権が移ります。また、ジャックボールは1ゲーム終了する度に次の番号の人が投げます。
- (3) 投球順番
 - ① 次に後攻チームの、2、4、6番のどのボックスの人でも、ジャックボールを狙いやすい番号の人が投げます。チーム内の投球順番は自由です。
 - ② それ以降は、先攻・後攻チームのボールを比較し、ジャックボールから遠いチームが相手チームより近くなるまでボールを投げます。
 - ③ もし、一方のチームが持ちボールをすべて投げてしまったら、もう一方のチームが持ちボールをすべて投げます。
※ボールの投球は、審判の合図がないと投げてはならない。
- (4) 試合方法としては、立位でも座位(車椅子、普通の椅子)でも自由に選べます。

IV. 得点の数え方

- (1) 全てのボールを投げ終わったとき、ジャックボールに一番近いボールを(ベストボール)を決めます。
- (2) ベストボールがジャックボールの一番近くにあるチームが勝ちとなります。
- (3) 点数は、負けたチームのベストボールよりも、ジャックボールの近くにある勝ちチームのボールの数だけが得点となります。負けチームの得点はありません。

〈図2〉



V. 勝敗

- (1) 1回の試合を1エンドといい、4エンドが適度です。(正式には6エンド)
- (2) 4エンド終了後、各エンドの得点を合計し、総得点の多い側が勝ちとなります。
- (3) 試合時間や参加人数に応じてエンド数を変えることもできます。